

公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会
平成26年度 全国教職員研修会
開催要綱

大会テーマ

「介護福祉士養成施設の教育機能を地域社会へどう活かしていくのか」

1. 大会趣旨

超高齢社会を迎えた日本において、介護を取り巻く状況は激動の渦中にあります。厚生労働省では、平成37(2025)年へ向けて、地域に暮らす高齢者の支援とサービス提供の包括的な体制として「地域包括ケアシステム」の構築を推進しています。その一環として、今年6月18日には「地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」が国会において成立しました。

一方、昭和62(1987)年に誕生した「介護福祉士」は、すでに100万人を超える国家資格登録者を生み、介護現場における中核的な存在となっています。また、より質の高い介護福祉士として「認定介護福祉士(仮称)」の在り方も検討されています。このような状況のもと、平成19(2007)年に法定化をされた実務経験ルートで国家試験を受験する者への「介護福祉士実務者研修」の実施、「外国人介護人材としての留学生等の受け入れ」への対応等、切迫する介護人材の不足についての課題が多岐にわたっています。

私たち介護福祉士養成施設は、四半世紀にわたり「介護福祉士養成教育」に取り組み、制度や施策の要請に応えるかたちで、多くの質の高い介護福祉士を輩出してきました。現在、変動する地域社会の中で養成施設の教育機能が、学校の建物、設備などの物理的資源にとどまらず、教員・指導者などの人的資源を含めて、地域においてそれをどう活かしていくのか、介護福祉士養成教育の「拡がり」が期待されています。

地域社会に根ざした介護サービスの実現には、多職種の専門職と地域のさまざまな個人や団体との連携に基づく「協働」が必要とされ、介護福祉士の教育機能をもつ養成施設の担うべき役割は大きいと言えます。本大会では近々の確かな情報収集に努める中で、介護福祉士養成施設の地域社会における可能性や役割について考えた大会設計を構想しています。全国から多くの経営者や教職員にお集まりいただき、業界内外の皆様とともに対話をもとにした議論を深め、日本の「介護」から、世界へ発信する「KAIGO」を展望する全国大会を開催します。

2. 日 時 平成26年11月19日(水)～21日(金)
3. 会 場 四日市都ホテル
〒510-0075 三重県四日市市安島1-3-38
Tel : 059-352-4131 (近鉄四日市駅 北出口より徒歩1分)
4. 主 催 公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会
5. 主 管 平成26年度全国教職員研修会実行委員会(東海北陸ブロック)
東海北陸ブロック介護福祉士養成施設協会

6. 参加対象 (定員) 介護福祉士養成施設 教職員・学校経営者等 400名
職能団体・関係団体・一般参加者 150名 合計 550名
※11月19日(水)、21日(金)は、一般公開向けの研修プログラムを用意してありますが、大会全体において介護福祉教育に関心のある方ならどなたでも参加できます。
7. 参加費 会員参加費(事前受付) 10,000円(資料代含む、3日間)
会員参加費(当日受付) 11,000円(資料代含む、3日間)
一般参加費(事前受付) 4,000円(資料代含む、1日あたり)
一般参加費(当日受付) 5,000円(資料代含む、1日あたり)
懇親会費 6,000円(当日受付不可)
弁当代金 1,500円(11月20日のみ1食あたり・お茶付)
8. 後援 厚生労働省・三重県・四日市市・(社福)全国社会福祉協議会・(公社)日本介護福祉士会
(公社)全国老人福祉施設協議会・(公社)全国老人保健施設協会・(一社)日本社会福祉教育学校連盟
(公社)日本社会福祉士会・(公社)日本精神保健福祉士協会・(一社)日本社会福祉士養成校協会
(一社)日本精神保健福祉士養成校協会・ソーシャルケアサービス従事者研究協議会
(一社)富山県介護福祉士会・富山県老人福祉施設協議会・(社福)富山県社会福祉協議会
(一社)石川県介護福祉士会・石川県老人福祉施設協議会・(社福)石川県社会福祉協議会
(一社)静岡県介護福祉士会・静岡県老人福祉施設協議会・(社福)静岡県社会福祉協議会
(一社)愛知県介護福祉士会・愛知県老人福祉施設協議会・(社福)愛知県社会福祉協議会
(一社)岐阜県介護福祉士会・岐阜県老人福祉施設協議会・(社福)岐阜県社会福祉協議会
(一社)三重県介護福祉士会・三重県老人福祉施設協会・(社福)三重県社会福祉協議会 順不同
※この事業はオートレースの補助を受けて実施します。
9. 報道協力 読売新聞社、中日新聞社、朝日新聞社、毎日新聞社、福祉新聞社、伊勢新聞社、
高齢者住宅新聞、シルバー新報、NHK、FM三重、四日市CTY 他(依頼中)
10. 参加申込 開催要綱に添付のFAX用紙に必要事項を記入して近畿日本ツーリスト株式会社
四日市支店まで送信してください。
平成26年8月21日(木)～10月3日(金)
11. 参加受付 近畿日本ツーリスト株式会社 四日市支店
〒510-0075 三重県四日市市安島1-1-56
Tel : 059-351-4851 Fax : 059-351-4580
12. 大会事務局 ユマニテク医療福祉大学校 介護福祉学科
〒510-0854 三重県四日市市塩浜2-34
Tel : 059-349-6033 Fax : 059-349-6034
E-mail : info-we@humanitec.ac.jp
担当 : 森 聖志・伊藤幾代・田村禎章

= 大会総プログラム =

【大会1日目】11月19日（水）会場：伊勢の間

11:45 受付開始（予定）

12:30～13:15 平成26年度 日本介護福祉士養成施設協会 臨時総会（予定）

13:30～14:00 【開会式】

主催者挨拶 日本介護福祉士養成施設協会 会長 小林光俊

実行委員長挨拶 日本介護福祉士養成施設協会

副会長・東海北陸ブロック代表理事 大橋正行

来賓挨拶 厚生労働省、三重県、四日市市 ほかも多数予定

14:00～14:50 【基調講演】

「福祉・介護を取りまく政策の整理と介護福祉士養成施設への期待（仮）」

厚生労働省社会・援護局福祉基盤課

福祉人材確保対策室 室長 武内和久 氏

15:00～17:30 【大会シンポジウム】

「介護福祉士養成施設の教育機能を地域社会へどう活かしていくのか（仮）」
〈趣旨〉

地域包括ケアが推進されるなか、これまで四半世紀にわたり私たちが育んできた、介護福祉士養成教育の“価値”を改めて考えるなかで、地域社会へそれをどう活かしていくのかが問われています。本シンポジウムでは、学術的、職能的なそれぞれの立場から「地域」をキーワードとしたご報告をいただきます。また、地域行政の首長、厚生労働省より指定発言をいただき、日本の介護、世界の「KAIGO」をフロアの皆様とともに考えます。

○シンポジスト

「地域包括ケアシステムと“地域型”介護サービスへの示唆（仮）」

聖隷クリストファー大学大学院 教授 太田貞司 氏

○シンポジスト

「挑戦型（地域貢献型）社会福祉法人の構築（仮）」

公益社団法人全国老人福祉施設協議会 総務・組織委員会 委員長 太田二郎 氏

○シンポジスト

「日本介護福祉士会の展望と地域の介護福祉士会の役割（仮）」

公益社団法人日本介護福祉士会 会長 石橋真二 氏

○シンポジスト

「外国人介護人材の地域への受け入れ方策について（仮）」

京都大学大学院文学研究科 特定准教授 安里和晃 氏

○指定発言者

三重県知事 鈴木英敬 氏

○指定発言者

厚生労働省社会・援護局福祉基盤課

福祉人材確保対策室 室長 武内和久 氏

○コーディネーター

日本介護福祉士養成施設協会

副会長・東海北陸ブロック代表理事 大橋正行

17:30 大会1日目終了

18:30～20:30 **【懇親会（着席卓盛形式）】** 会場：伊勢の間

全国の教職員との貴重な情報交換の場です。三重県の地元料理をご堪能いただきながら、伝統芸能である「伊勢神楽」を鑑賞いただきます。また、学生の特別出演など多くのお楽しみプログラムを構想中です。ぜひたくさんの方にお越しいただきたいと思っております。

《分科会とワークショップの説明》

- 分科会は、複数の基調報告をもとにして聴講形式にて行う研修方法です。
- ワークショップは、基調報告をもとにして参加者自身がグループワークや討論を通して主体的に学びを創る研修です。
- 会場により人数の制限をする場合がありますのでお早めにお申し込みください。定員を超えた場合は先着順とさせていただきます。

【大会2日目】11月20日（木） 会場：各分科会・ワークショップ会場

9:00 受付開始・分科会会場入場

9:30～12:30 **【分科会】**

第1分科会

「地域が必要とする介護福祉士とその教育の在り方を考える

～地域包括ケアシステムにおける介護福祉士の役割と専門性から（仮）～」

〈趣旨〉

団塊の世代が75歳以上に到達する平成37（2025）年までに、65歳以上の高齢者は人口の30%に達すると予想され、画一的なサービス提供から個々の地域の特性に対応できる社会福祉の在り方が求められています。今まさに、「生活支援」の専門職である介護福祉士が、その専門性を発揮することが必要です。本分科会では、介護の現場、教育、福祉行政の立場から「地域で生活する人の支援」という「地域福祉」を視野に入れた介護福祉教育の在り方について再考し、議論、提案する機会にします。

■特別講師：一般社団法人岐阜県介護福祉士会 会長 浅井タヅ子 氏

岐阜県笠松町地域包括支援センター センター長 荒木 篤 氏

■主 担 当：岐阜経済大学 樋下田邦子（岐阜県）

第2分科会

「介護福祉士養成教育とカリキュラムの評価をどう考えるのか（仮）」

〈趣旨〉

カリキュラムが改定されて5年が経過し、この間、カリキュラム全体を評価した研究は少ない状況にあります。本分科会では、卒業時に求められる『資格取得時の到達目標』に照らした考察、カリキュラムの評価方法や評価基準の検証などについて意見をいただき、今後の介護福祉教育の発展について議論します。

※分科会登壇者を公募しますので、ぜひご協力ください。

■特別講師：熊本学園大学 教授 横山孝子 氏

■主 担 当：金城大学 小林千恵子（石川県）

金沢福祉専門学校 石井康子（石川県）

第3分科会

「介護福祉士養成校と施設・関係団体との対話

～人財づくりのための地域連携を目指して～(仮)」

〈趣旨〉

介護福祉士養成校と施設・関係団体において、地域連携するための「対話」と「人財づくり」が急務となっております。本分科会では、「三重県」の組織代表者にご登壇いただき、養成校とどう地域でのアライアンスを組むことができるのかについて討論をします。

■特別講師：公益社団法人全国老人保健施設協会 会長 東 憲太郎 氏
社会福祉法人三重県社会福祉協議会 会長 井村正勝 氏（調整中）
一般社団法人三重県介護福祉士会 会長 大田京子 氏

■主 担 当：高田短期大学 千草篤磨（三重県）

第4分科会

「外国人介護人材と介護福祉士養成校の役割

～EPA 就学コース・留学生を視野にいれて～(仮)」

〈趣旨〉

日本の介護現場では、外国人介護人材の受け入れが検討されています。本分科会では、養成校における外国人介護福祉士養成の新たな可能性について検討します。これまで EPA 就学コースは 8 校の養成校で 37 人を養成しました。卒業生のインタビューや養成校の調査を通して EPA 就学コースの実態を把握し、留学生の受け入れについて検討します。また、講演ではベトナム人看護留学生を受け入れた体験を伺い、介護福祉士養成校の役割について会場との意見交換を行います。

■特別講師：NPO 法人 AHP ネットワークス 専務理事 二文字屋 修 氏

■主 担 当：静岡県立大学短期大学部 石野育子（静岡県）

第5分科会

「介護福祉士養成施設の教育機能をどこで、どのように活かすのか(仮)」

〈趣旨〉

本分科会では、介護福祉士養成教育の“拡がり”を考える下記「論点」をもとに、養成校の教育機能を検証する分科会を設計します。

（論点1）介護福祉士養成施設と「認定介護福祉士制度（仮称）」とのかかわり（仮）

（論点2）介護福祉士養成施設の「高度化教育」に関する視座（仮）

（論点3）介護福祉士養成施設と「介護福祉士実務者研修」の全国的動向（仮）

■特別講師：公益社団法人日本介護福祉士会 副会長 内田千恵子 氏
東洋大学 教授 本名 靖 氏

一般社団法人介護福祉士実務者研修センター 専務理事 伊藤晴美 氏

■主 担 当：あいち福祉医療専門学校 熊崎正実（愛知県）

富山福祉短期大学 宮嶋 潔（富山県）

12:30～13:30 昼食（分科会会場にて）

※各種パートナーズ企業様の展示・販売・体験コーナーへ足をお運びください。

〈会場ご出展予定の企業様（順不同・敬称略）〉

中央法規出版株式会社、株式会社メヂカルフレンド社、株式会社建帛社、
株式会社みらい、株式会社ガリバー、京都科学株式会社、

公益財団法人日本レクリエーション協会、株式会社自由工房、株式会社パワービー

13:30～16:30【ワークショップ】

ワークショップ A

「介護過程の教育方法（仮）」

〈趣 旨〉

利用者に応じた介護過程が展開できるようにという最終目標は同じであっても、教材や教育方法については各養成課程で様々な工夫がされていると考えます。しかしながら、知識や技術を統合していく一連のプロセスの学びにはまだまだ課題が多いと考えます。そこで「介護過程」の授業の悩みを共有し、教育方法についての議論を深めたいと考えています。

■特別講師：大妻女子大学 教授 佐藤富士子 氏

■主 担 当：富山短期大学 西井啓子（富山県）
金城大学 木谷尚美（石川県）

ワークショップ B

「医療的ケア教育の方向性（仮）」

〈趣 旨〉

介護福祉士の「業」として「医療的ケア教育（喀痰吸引・経管栄養等）」が位置づけられ、いよいよ養成校でもその教育がはじまりました。生活支援者である介護福祉士が医療的ケアを行うにあたって、それをどのように解釈していくのか、今後どのようにその範囲が拡大していくかなど、さまざまな課題を整理し議論を深めたいと考えています。

■特別講師：日本介護福祉学会 会長 井上千津子 氏（前京都女子大学 教授）

浦和大学短期大学部 教授 平澤泰子 氏

日本福祉教育専門学校 学科長 八子久美子 氏

■主 担 当：鈴鹿オフィスワーク医療福祉専門学校 水町一恵（三重県）

ワークショップ C

「介護予防資格の創設～自彊術介護予防指導員の養成から～（仮）」

〈趣 旨〉

介護保険制度による「要支援認定」は廃止をされ、地域の介護予防にこたえるマンパワーの不足が課題になることが予想されています。本ワークショップでは、介護予防に有効とされる「自彊術（じきょうじゅつ）」を取り上げ、その有効性と教育内容について参加者が体験します。

■特別講師：公益社団法人自彊術普及会 会長 久保穎子 氏

■主 担 当：名古屋経営短期大学 志水暎子（愛知県）

ワークショップ D

「介護実習における教育的効果を検証する（仮）」

〈趣 旨〉

「実習施設・事業等（Ⅰ）」「実習施設・事業等（Ⅱ）」が各養成校によって多様な実習プログラムが工夫され行われています。実習内容、実習形態や方法について、情報交換を行いながら参加者とより教育効果の高い介護実習について意見交換します。

■特別講師：西九州大学短期大学部 教授 鍋島恵美子 氏

品川介護福祉専門学校 教務主任 木村久枝 氏

■主 担 当：ユマニテク医療福祉大学校 伊藤幾代（三重県）

ワークショップ E

「学生が持つ本来の力を引き出す教育方法の探求

～コミュニケーション力を高めるために～（仮）」

〈趣旨〉

近年、自分の思いを伝えることや他者との関係づくりに自信が持てず、本来の力を発揮できにくい学生が増加傾向にあります。この課題に対応するために、体験活動を通して自分自身と、そして他者と向き合う教育方法が注目を集めています。本ワークショップでは、3つの手法（アドベンチャーカウンセリング、レクリエーション、ドラマセラピー）を採り上げ、実際の授業を体験します。

■特別講師：関西大学・立命館大学 非常勤講師 小西浩嗣 氏

公益財団法人日本レクリエーション協会 支援者育成チーム 小久保信幸 氏

ドラマセラピスト 中野左知子 氏

■主 担 当：サンビレッジ国際医療福祉専門学校 金井浩樹（岐阜県）

17:30 大会 2 日目終了

【大会 3 日目】 11 月 21 日（金） 会場：伊勢の間

8:30 受付開始

9:00～10:20 【教育フォーラム】

「介護福祉士養成教育の“拡がり”を展望する

～過去との対話、未来への提言～（仮）」

〈趣旨〉

現在、介護福祉士養成教育は、「地域」を基盤とした介護福祉実践の展開とその教育の拡がりが求められています。本フォーラムでは、日本の介護福祉士養成教育をリードする研究者・実践者を招き、過去との対話から、未来への教育を見つめ、今日の教育実践を考える場とします。

○報告者：群馬医療福祉大学大学院 黒澤貞夫 氏

・平成 19 年度改正を経て、

生活支援の学的考察を地域社会へどう活かすのか（仮）

○報告者：旭川福祉専門学校 関谷タケミ 氏

・人間教育として介護福祉士養成教育が地域に根ざすための在り方（仮）

○報告者：尾道福祉専門学校 上原千寿子 氏

・地域に根ざした介護福祉士養成教育の組織的連携の在り方（仮）

○コーディネーター：聖隷クリストファー大学大学院 中村裕子

10:30～11:30 【特別記念講演】

「命の授業～今の幸せに気づくことから夢はひろがる～」

講師：腰塚 勇人 氏

11:30～11:45 【閉会式】

閉会挨拶 日本介護福祉士養成施設協会 教育研修委員会 委員長 溝部 仁

次期開催ブロック挨拶

日本介護福祉士養成施設協会

副会長・関東信越ブロック代表理事 鈴木利定

公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 平成26年度全国教職員研修会 宿泊・お弁当・視察旅行のご案内

会 期:平成26年11月19日(水)~11月21日(金)

会 場:四日市都ホテル

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度は「公益社団法人日本介護福祉士養成施設協会 平成26年度全国教職員研修会」が三重県にて開催されますことを心より歓迎申し上げます。

さて、本大会ご参加の皆様のご宿泊・お弁当ならびに視察旅行のご案内を近畿日本ツーリスト株式会社 四日市支店が担当させていただくことになりました。

つきましては、以下の要領にてお申し込みくださいますようお願い申し上げます。

皆様方の多数のご参加を心よりお待ちしております。

近畿日本ツーリスト株式会社 四日市支店
支店長 平出 昌広

■お申込みについてのご案内■

●研修会のご案内

- ◆日 時 平成26年11月19日(水)~11月21日(金)
- ◆会 場 四日市都ホテル
- ◆参加費 会員参加費(事前受付) お一人様10,000円 (資料代含む、3日間)
会員参加費(当日受付) お一人様11,000円 (資料代含む、3日間)
一般参加費(事前受付) お一人様 4,000円 (資料代含む、1日あたり)
一般参加費(当日受付) お一人様 5,000円 (資料代含む、1日あたり)

●懇親会のご案内

- ◆日 時 平成26年11月19日(水) 18:30~20:30
- ◆会 場 四日市都ホテル
- ◆参加費 お一人様 6,000円

●お弁当のご案内(当社手配旅行契約となります)

- ◆提供日 平成26年11月20日(木)
- ◆会 場 四日市都ホテル
- ◆代 金 お一人様 1,500円
- ◆取消料 当日から起算して4日前まで…無料
当日から起算して3日前まで…20%
当日から起算して2日前から当日まで…100%

【弁当に係わる旅行条件(要約)】

- ①弁当に係わる契約は手配旅行契約となり、当社がお客様からのご依頼によって手配を行いません。
近畿日本ツーリスト(株) 四日市支店(四日市市安島1-1-56 観光庁長官登録旅行業第1944号)
- ②旅行代金のお支払い、契約の成立(1)回答と確定書面(予約確認書、旅行条件全文等)、請求書をお渡します。(2)請求書に記載のご旅行代金(弁当代金)を指定の口座へお振込みいただけます。(3)旅行契約は、旅行会社のご旅行代金(弁当代金)を受領した時に成立するものとします。
- ③取消料 旅行契約成立後お客様のご都合で弁当を取消される場合はお申込みのご案内記載の【弁当取消料】を申受けます。

●ご宿泊のご案内(当社募集型企画旅行契約となります)

●視察旅行のご案内(当社募集型企画旅行契約となります)

- ・上記2件のご案内については次ページ以降をご参照ください。

ご宿泊のご案内

- 宿泊日** 平成26年11月18日（火）・19日（水）・20日（木）
■ 旅行代金（宿泊プラン） お一人様（1泊朝食付・税金・サービス料込）

※部屋タイプのご案内：全客室バス・トイレ付となります。 部屋タイプ表示のご案内：TWN=ツインルーム/SIN=シングルルーム

ホテル名	申込記号	部屋タイプ	宿泊プラン代金	近鉄四日市駅からの時間
四日市都ホテル	A 1	1名1室 SIN	11,000円	徒歩1分
	A 2	2名1室 TWN	10,000円	
ホテルレオパレス四日市	B	1名1室 SIN	8,700円	徒歩2分
プラトンホテル四日市	C 1	2名1室 TWN	8,000円	徒歩3分
	C 2	1名1室 SIN	8,000円	
四日市シティホテルアネックス	D 1	2名1室 TWN	8,000円	徒歩3分
	D 2	1名1室 SIN	8,000円	
ホテルサンルート四日市	E 1	2名1室 TWN	8,000円	徒歩6分
	E 2	1名1室 SIN	7,000円	
四日市シティホテル	F	1名1室 SIN	7,500円	徒歩2分
三交イン四日市駅前	G	1名1室 SIN	7,500円	徒歩1分
ヒールイン四日市	H	1名1室 SIN	6,700円	徒歩10分

※ホテルの位置、会場周辺図及び交通手段を次々ページに記載しております。ご参考下さい。

◎喫煙・禁煙の区分は事前に申込み欄にご記入ください。

- ・ツインルーム以上をご希望の場合は、同室の方のお名前が必要となります。
- ・ツインルーム以上の1名利用はできませんのでご了承ください。
- ・旅行代金（宿泊プラン）は団体利用の料金を適用していますので、各ホテルのクレジットカードメンバーズカード等の特典対象にはなりませんのでご了承ください。

◎取消料について

お申込み後に変更・取消が生じた場合の取消料は下記の通りです。

変更・取消ともにFAXにてご連絡ください。お電話での変更・取消はお受けできません。

ご入金後の変更・取消に伴うご返金は大会終了後にお手続きさせていただきます。

宿泊の取消

宿泊日の14日前まで	宿泊日の13日前～4日前	宿泊日の3日前～前日	宿泊日当日
無料	宿泊代金の30%	宿泊代金の50%	100%

◎ご旅行代金に含まれるもの

- 宿泊代金には、1泊朝食・税金・サービス料が含まれています。

視察旅行のご案内

- ★伊勢神宮のご参拝を中心に「美し国」伊勢志摩の見どころをめぐるバスツアーをご用意しました。
- ★各コース1名からご参加いただけます。研修会参加の方以外もお誘いあわせの上ご参加ください。
- ★添乗員が1名同行いたします。

Aコース	伊勢神宮(内宮)御垣内(みかきうち)参拝とおかげ横丁フリータイム				
11/21 (金)	四日市都ホテル 12:00	====(車中弁当)====	○伊勢神宮【内宮・御垣内参拝】	おかげ横丁	====近鉄宇治山田駅 17:45 18:00
※近鉄宇治山田駅・・・近鉄名古屋駅まで特急で約85分					
ご旅行代金 おひとり様		8,000円(昼食代込)			

～コースのポイント～

- お弁当 **三重介護福祉専門学校 大川吉崇先生(日本民俗学会)の御垣内参拝、三重県の食文化などの解説、同行引率があります！**

地元三重の食材を活かした特製弁当を伊勢への途中で積み込みいたします。

- 伊勢神宮(内宮)

皇室の祖先神で日本人の総氏神である、天照大御神(あまてらすおおみかみ)を祭神としています。

御垣内参拝とは・・・神職のお祓いを受け外玉垣(とのたまがき)の中に入って、お参りする特別参拝となります

男性は背広にネクタイ着用、女性はスーツまたはこれに準じた服装でお出かけください。

- 伊勢の名物「赤福」1箱(8個入り)のおみやげ付きです。

御垣内参拝は、地元の方でもなかなか行けません！ぜひ体験ください！

Bコース	地元の「大橋正行」実行委員長と行く！真珠専門店と伊勢神宮(内宮)参拝				
11/21 (金)	四日市都ホテル 12:00	====(車中弁当)====	真珠専門店にてショッピング	====	○二見夫婦岩 14:30 14:35 15:15
====○伊勢神宮【内宮】・おかげ横丁====近鉄宇治山田駅 15:45 17:45 18:00					
※近鉄宇治山田駅・・・近鉄名古屋駅まで特急で約85分					
ご旅行代金 おひとり様		7,500円(昼食代込)			

～コースのポイント～

- お弁当 **ユマニテク医療福祉大学 大橋正行先生のお値打ち真珠の選び方指導、同行引率があります！**

地元三重の食材を活かした特製弁当を伊勢への途中で積み込みいたします。

- 真珠専門店

伊勢志摩の名産といえば真珠。大橋実行委員長から交渉いただき、今回特別料金を設定いただきました。

- 伊勢の名物「赤福」1箱(8個入り)のおみやげ付きです。

激安で「ブランド真珠」が
お買い求めいただけます！

A・Bコース共通のご案内

- ◎最少催行人員は各コース25名です。お申し込みが25名に満たない場合は中止させていただきます。定員は各コース40名、先着順とさせていただきます。
- ◎視察旅行後の宿泊手配をご希望の方は弊社までご相談ください。
- ◎お申込みの方には、最終日程表をお送りいたします。その際、集合場所・時間等ご案内いたします。

◎視察旅行の取消

21日前まで	20日前～8日前まで	7日前～前日まで	出発日当日	無連絡不参加
無料	旅行代金の20%	旅行代金の30%	旅行代金の50%	旅行代金100%

◎ご旅行代金に含まれるものとして日程表に記載の交通・添乗員同行諸経費・旅行取扱料金が含まれています。

◎行程上のマークの意味： == 貸切バス ○ 下車観光

会場周辺地図

四日市都ホテル

■電車でお越しの方

近鉄四日市駅北口から・・・徒歩1分

(近鉄名古屋駅から急行34分、特急28分 620円(特急は別途料金510円))

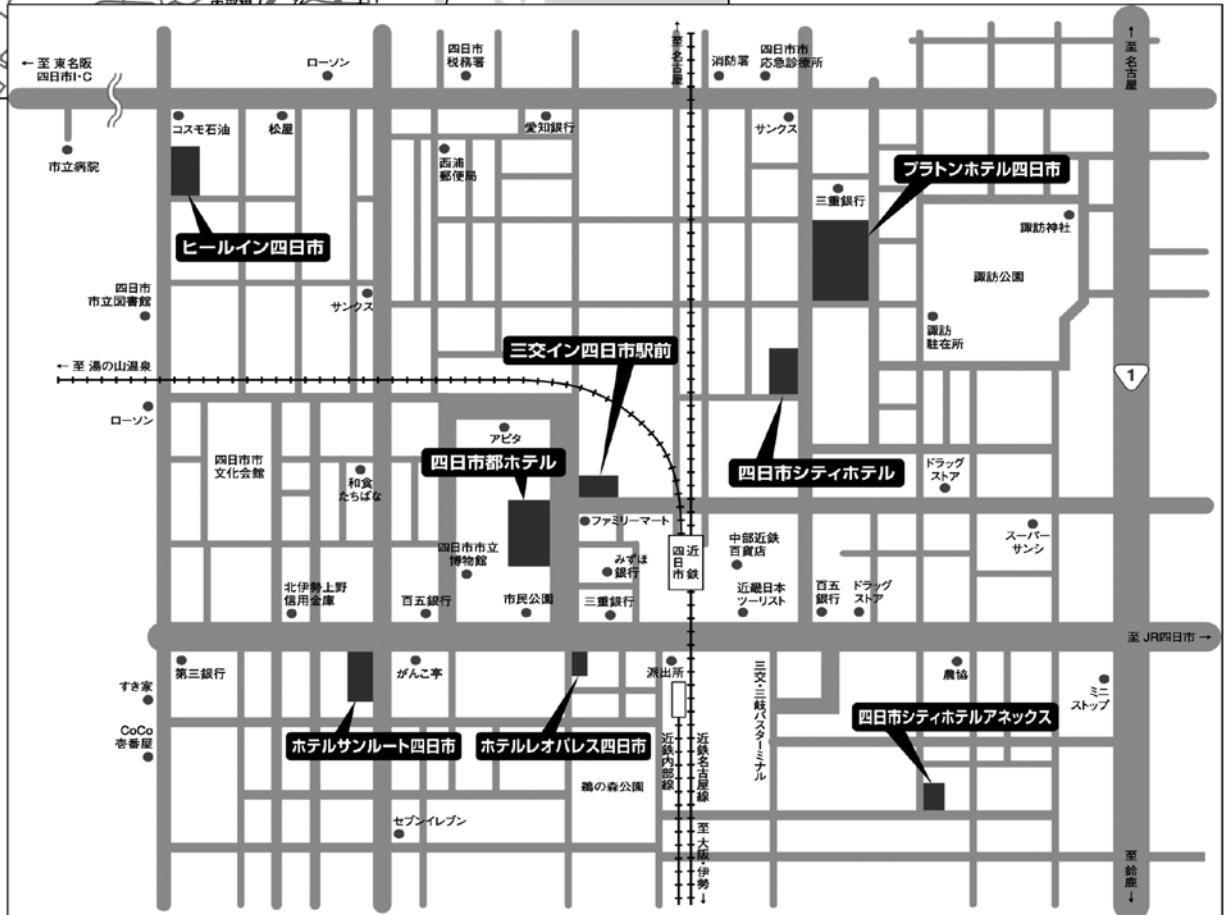
■お車でお越しの方

東名阪自動車道 四日市 I C から・・・約20分

伊勢湾岸自動車道 みえ川越 I C から・・・約25分

■飛行機をご利用の方

中部国際空港(セントレア)から・・・高速バス約80分 1,500円(四日市都ホテル前下車)



お申込方法

1.お申し込み方法

別紙申込書に必要事項を記入し、郵送又はFAXにて「近畿日本ツーリスト(株)四日市支店」へお送りください。なお、お電話でのお申し込みはできません。必ず書面にてお願いいたします。

お申込み頂きました申込用紙の返信をもって、「受付完了」とさせていただきます。

- 「宿泊者氏名欄」にはお泊りになる方お名前をすべてご記入ください。
- ツインルームをご希望の場合は、同室者のNo. (番号)を「同室者欄」にもれなく記入ください。
- 書類の送付先住所は必ず記入してください。その際送付先が勤務先または自宅の場合は、概要欄を○印にて明記してください。
- 懇親会・お弁当・視察旅行のお申込みがない場合は必ず「×」をつけてください。ご協力をお願いいたします。

2.お申込み締め切り

平成26年10月3日(金)

※締切以降のお申込みについては近畿日本ツーリスト四日市支店までご相談下さい。

※締め切り以降の変更・取消はその都度受け付けいたします。

3.お支払い方法

お申込みくださいました内容に基づき、お申込者代表者様宛に、10月下旬頃、請求書・宿泊確認書・お弁当引換券及び情報交換会の参加券をお送りいたします。

請求書到着後、弊社指定の銀行口座へお振込み願います。お振込先・お振込み期限は、その際に御案内します。

4.お申込み・お問い合わせ先

【旅行企画・実施】近畿日本ツーリスト株式会社 四日市支店	
観光庁長官登録旅行業第1944号 一般社団法人日本旅行業協会正会員	「日本介護福祉士養成施設協会 全国研修会」係
ボンド保証会員 旅行業公正取引協議会会員	担当/勝田・伊藤・太田
総合旅行業取扱管理者 平出昌広	電話 059-351-4851 FAX 059-351-4580
	〒510-0075 三重県四日市市安島1-1-56
	営業時間 月～金 9:30～18:00 (土日祝休み)
総合旅行業取扱管理者とは、お客様の旅行を取扱う取引の責任者です。この旅行契約に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば総合旅行業取扱管理者にご質問下さい。	
旅行条件(抜粋) 詳しい旅行条件を説明した書面をお渡し致しますのでご確認の上お申し込み下さい。	

宿泊プラン・視察旅行

1.募集型企画旅行約款

①この旅行は近畿日本ツーリスト株式会社(以下「当社」という)が企画・募集し実施する企画旅行であり、この旅行に参加されるお客様は当社と募集型企画旅行契約(以下「旅行契約」という)を締結することになります。

この条件書に定めのない事項は当社募集型企画旅行業約款によりします。この書面は旅行業法第12条の4による旅行取引条件書です。また、旅行契約が成立した場合は、旅行業法第12条の5により交付する契約書面の一部になります。

2.旅行のお申し込み及び申込金

別途ご案内をご確認ください。

3.最少催行人員

最少催行人員に満たない場合は旅行を中止する場合がありますが、この場合は出発4日前までにご連絡いたします。

4.旅行代金に含まれているもの

旅行日程に明示された以下のもの

(1)旅行日程に明示した運送機関の運賃・料金、食事料金、観光料金

(2)添乗員が同行する場合は、添乗員経費、団体行動に必要な心付を含みます。

5.上記4のほかは旅行代金に含まれません。

6.旅行内容・旅行代金の変更

天災地変、運送、宿泊機関のサービスの提供の中止など当社の関与し得ない事由で、また運送機関の運賃・料金の大幅な改定により旅行内容・旅行代金を変更する場合があります。尚お客様のお申し出により旅行内容の変更がある場合は別途所要経費をいただきます。また運送・宿泊機関の利用人員により旅行代金異なる場合、お客様の都合で利用人員が変更になったときは旅行代金を変更することがあります。

7.特別補償

国内受注型企画旅行約款の特別補償規定で定めるところにより、お客様が企画旅行参加中に急激かつ外来の事故により、生命、身体又は荷物に被られた一定の損害については、あらかじめ定める額の補償金及び見舞金を支払います。

8.当社の責任

当社は故意又は過失によりお客様に損害を与えたときは、損害を賠償します。ただし、損害発生日から2年以内に当社に対して通知があった場合に限りです。手荷物について生じた損害については、同項の規定にかかわらず、損害発生日から15日以内に当社に対して通知があったときに限り、旅行者1人15万円を限度(当社に故意又は重大な過失がある場合を除きます)として賠償します。(注:天災地変、戦乱、暴動、運送・宿泊機関の事故・火災による旅行日程の変更・中止、運送機関の遅延、欠航、スケジュール変更、食中毒、自由行動中の事故、盗難、官公署の命令又は伝染病による隔離は該当しません。)

9.お客様の責任

お客様の故意または過失、法令もしくは公序良俗に反する行為により当社が損害を被った時にはお客様へ損害の賠償を申し受けず。

10.旅程保証

当社は別途定める契約内容の重要な変更が生じた場合は旅行代金に一定の率を乗じた変更補償金を支払います。

11.確定書面の交付

当社は旅行開始日の4日前までに最終日程表(確定書面)を交付致します。

12.その他

①当社はいかなる場合でも旅行の再実施は致しません。

②この旅行条件は、2014年6月25日現在を基準としております。また旅行代金は2014年6月25日現在有効なものとして公示されている航空運賃・適用規則を基準として算出しています。

13.個人情報の取扱について

①近畿日本ツーリスト株式会社(以下「当社」)およびご旅行をお申し出いただいた受託旅行業者(以下「販売店」)は、旅行申込の際にご提出いただいた個人情報について、お客様との連絡や運送、宿泊機関等の手配のためにご利用させていただくほか、必要な範囲内において当該機関等に提供いたします。

②上記のほか、当社の個人情報の取扱に関する方針は、当社の店舗またはホームページをご覧ください。

0450-1406-012